JGS　0051

地盤材料の工学的分類

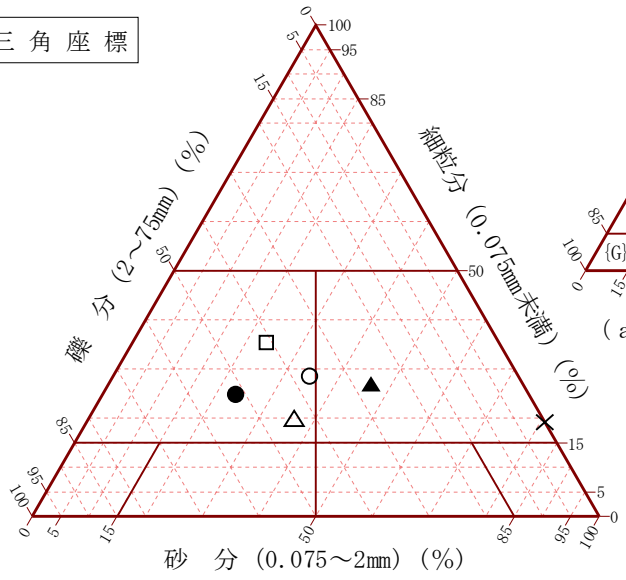
調査件名　SYSTEM21 最高級ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ土質調査解析ｿﾌﾄ
長年の実績で信頼と安定したｿﾌﾄを実現

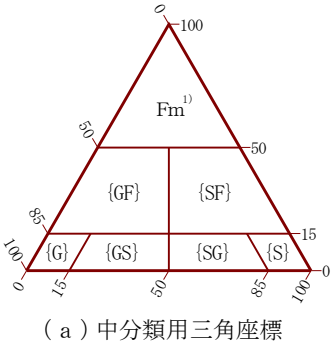
試験年月日　2020 年　7 月　20 日

試　験　者　佐藤　一朗

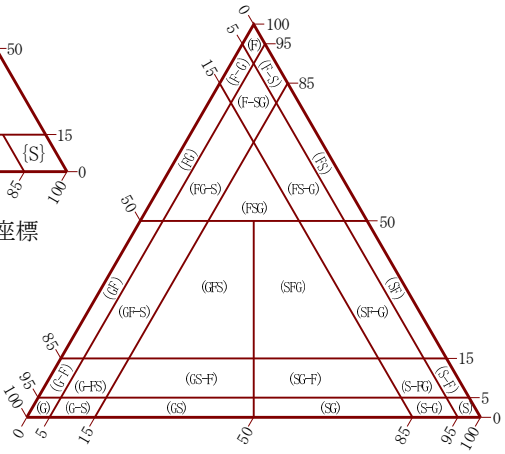
試料番号 （深　さ）	S1-1 (3.00m～3.70m)	S1-2 (6.00m～6.60m)	S1-3 (9.00m～9.80m)	M-1 (路盤工)	M-5	M-6
石　分(75mm以上)　%	10.0	12.0				
礫　分(2～75mm)　%	36.6	51.8	44.0	26.9	41.0	0.0
砂　分(0.075～2mm)　%	34.7	23.3	36.4	46.3	23.7	80.9
細粒分(0.075mm未満) %	28.7	24.9	19.6	26.8	35.3	19.1
シルト分(0.005～0.075mm)%	10.8	14.8			20.7	
粘土分(0.005mm未満) %	17.9	10.1			14.6	
最大粒径　mm	75	75	75	19	120	2
均等係数 U_c	－	1210	－	－	1290	－
液性限界 w_L　%	6.0	51.7	14.89	18.2	106.9	39.4
塑性限界 w_p　%	3.9	22.6	2.73	13.9		13.3
塑性指数 I_p	2.1	29.1	12.16	4.3	106.9	26.1
地盤材料の分類名	細粒分質砂質礫 分離された砂	細粒分質砂質礫	細粒分質砂質礫	細粒分質礫質砂	細粒分質砂質礫 粘性土（Ⅰ型）	細粒分質砂 砂質礫
分類記号	(GFS)	(GFS)	(GFS)	(SFG)	(GFS)	(SF)
凡例記号	○	●	△	▲	□	×

三角座標

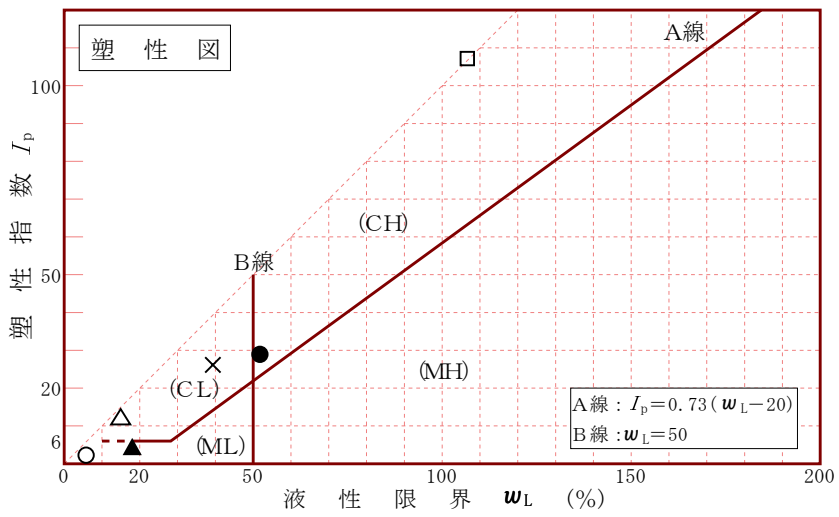




（a）中分類用三角座標



（b）粗粒土の小分類および細粒土の細分類用三角座標



特記事項　1）主に観察と塑性図で判別分類

砂や、礫質砂は、路床材や裏込め材に適当。
含水比高い材料の改良は生石灰での安定処理
土工材料の多くは75mm以上の石分を含む。
海成粘土・淡水成粘土・汽水成粘土
砂は、集中豪雨による法面崩壊・侵食に注意
強度不足対策には、消石灰・セメント処理
盛土地盤は、不飽和地盤で水浸沈下が発生
廃棄物は、舗装廃材・コンクリート廃材など
粒度組成によって粗粒材は工学的性質が変化
粗石まじり粒径幅のひろい礫まじり砂